

発刊のご挨拶

根室管内の生乳生産量は、2年続けて目標乳量を下回っていましたが、平成27年は、各地域での取り組みや、個々の経営努力により、回復の兆しが見えてきました。一方、消費者から安心・安全な農畜産物が求められている中で、酪農の一大地帯である根室管内においては、より衛生的な生乳生産が必要です。

管内で発生している病傷事故のうち、およそ半分近くが「乳房炎」であり、酪農家における経済的な損失は甚大なものがあります。酪農家の皆さんの労働面においても、その対策は、急務であるといえます。

この冊子を手にとった酪農家の皆さんは、さまざまな講習会に参加したり、多くの酪農雑誌を読んで「乳房炎の予防」に関する多くの知識を持っていることと思います。

そのような中で、我々、関係機関が生産現場を歩いていると、酪農家の皆さんから「生産現場の事例を知りたい。」という声をよく聞きます。

生産現場から得られる情報は、より実践的で、乳房炎を少しでもなくしたいと考えている酪農家の皆さんにとって非常に有益であると考えます。

そこで、今回の営農技術資料は「乳房炎」をテーマに、乳房炎の発生頭数が少ない酪農家で共通して実践されていること、農場でとくにやってほしいことを、生産現場の事例を中心にまとめました。

乳房炎予防対策の実効をあげるには、酪農家の皆さんの改善意欲と、創意工夫が必要です。ちょっとしたことを実践するだけで乳房炎が減り、「省力化」や「儲け」につながる可能性があります。

この冊子が酪農家の皆さん自身の「乳房炎の予防」に少しでもお役に立てれば幸いです。

最後になりましたが、本冊子を作成するにあたり、調査などにご協力頂いた酪農家の皆さんに心より感謝申し上げます。



根室農業改良普及センター
所長 佐藤 公之